

板橋区立 赤塚植物園



農業園

板橋にもかつて広がっていた畑の風景を、少しでも思い出させる場所です。子供達が農業体験を通じて土に親しめる畑の周りを果樹が囲みます。入口周辺のポタジェ(展示・観賞用の畑)に植えられるのはみな野菜。食べるところしか知らない野菜の本当の姿をぜひご覧ください。



イチジク

- イチジク(クワ科) [開花4月/結実9月] 春に花が袋に入った花囊ができ、それが秋に果として熟す。花が無いように見えるので無花果と書く。
- ▲ワイルdstロベリー(バラ科) [開花5月/結実6月] 和名エゾヘビイチゴ。野生種のイチゴで、現在食べられているイチゴのルーツ「オランダイチゴ」が出回るまでは広く栽培されていた。
- ブドウ(ブドウ科) [開花6月/結実10月] 古くから栽培され、品種が多岐にわたる。



ブドウ

【凡例】

- 木本(樹木)
- ▲ 草本
- 紅葉樹/黄葉樹
- 花・実がみどころの樹木
- 赤字の植物名 周囲に解説あり

成増駅六面



A 日本庭園

門の向こうに竹林があります。モウソウウチク、マダケなど竹各種が見られる他、ユズリハ、ヒサカキなど縁起物、お供え物など日本文化に通じるものが寄せられています。



キンメイモウソウ

- キンメイモウソウ(イネ科) 中国の江南地方から渡来したモウソウウチクの園芸品種。桿は黄金色で、緑色の織縞が入る。

- クロチク(イネ科) しばらくは緑色だが2年ほどに黒くなり、伐採後もその色で、建材や工芸材料として60~120年周期



ハゼノキ

オオムラサキ



B 四季の道・春夏

道の左右に、花や実のみどころが春夏のものを植栽しています。

●ミツマタ (ジンチョウゲ科)
[開花3月上旬～下旬] イラスト参照



ミツマタ

●ジュンラン (ラン科)
[開花3月中旬～4月上旬] 葉が多く2列に扇状に出る。早春根ざわから一茎一花をつける。唇弁にはん点があり、別名ホクロ。



ジュンラン

●ナツメ (クロウメモドキ科) [開花6月上旬～下旬] 結実9月] 葉腋に小さな黄色い5弁花をつける。果実は食用。芽ぶくのが遅く初夏になるので夏芽の名がつけられた。



ナツメ

●アケビ (アケビ科) [開花4月上旬～下旬] 野山に見られる落葉のつる植物。実は食べられる。

C ポタン園

春に正面口から右手園路をゆくと、奥で大輪の花を付けているのがポタンです。その豪華さから百花の王といわれます。園では数種のポタンを栽培。見比べてください。

●ポタン (ポタン科) [開花4月中旬～下旬] 中国原産で奈良時代に日本に渡り、多くの園芸種が作られた。新しい枝先に1つ花をつける。樹木で年々大きくなるが、同じポタン科のシヤクヤクは多年草。

D バラ園

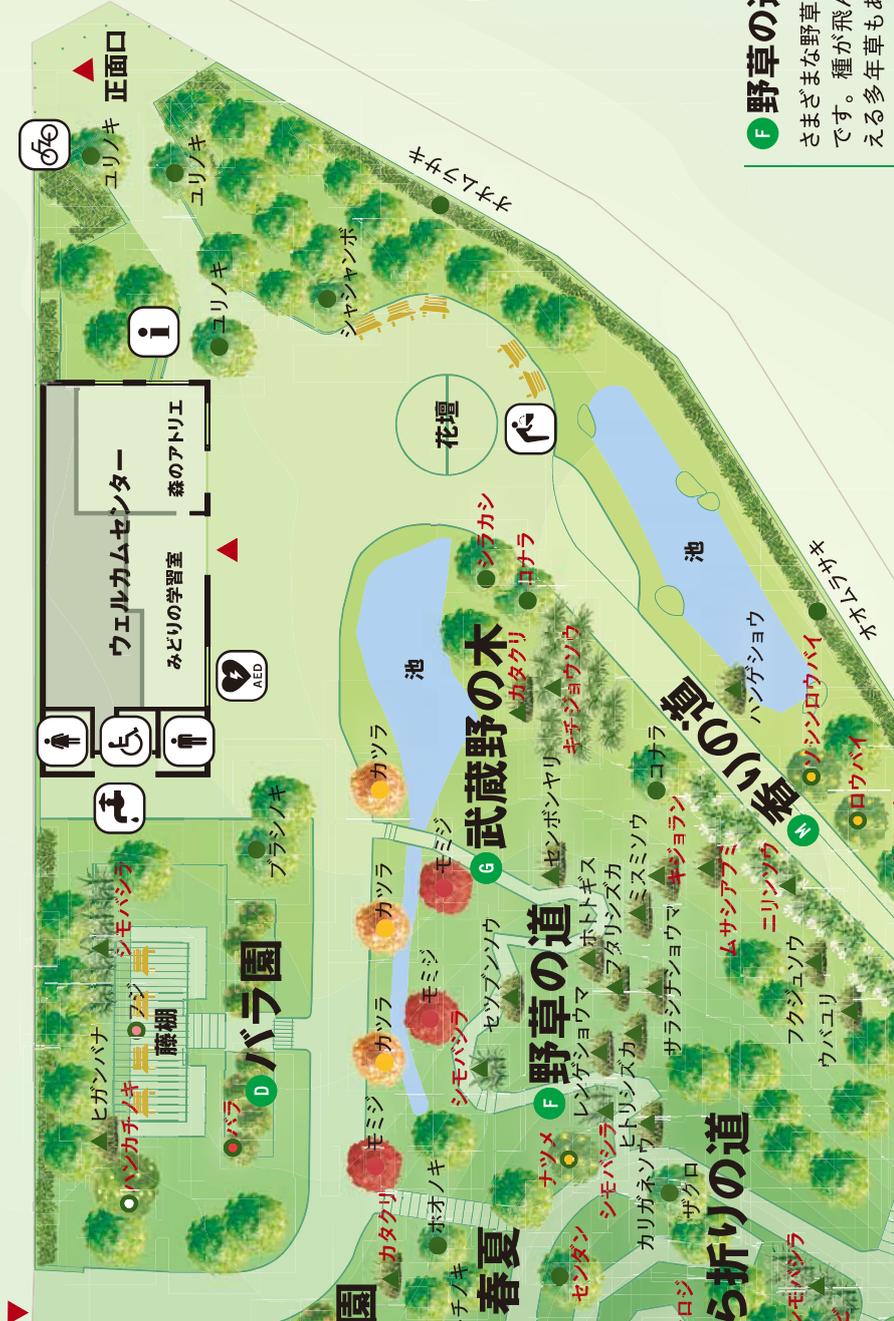
前にバラ、奥に藤棚があります。藤棚の木陰にはベンチがあって、一休みできるエリアです。藤棚の奥に、この園の注目の植物「シモバシラ」と「ハンカチノキ」があるのをお見逃しなく。

●バラ (バラ科) [開花5月/10月中旬～11月中旬] つるバラと、ブッシュローズの中でも、四季咲き大輪性のハイブリット・ティートと四季咲中輪性のフロリバンダを栽培。



バラ

区立美術館 / 高島平方面



G 武蔵野の木

赤塚植物園の敷地は、元武蔵野の雑木林。そのときに生えていた樹木が一部保存されているエリア。雑木林で見られる多くの下草も植栽。板橋の区花「ニリンソウ」はここにありません。

●シラカシ (ブナ科) [開花4月] 材は硬く、良質な用材になる。秋にはどんぐりが実る。
●コナラ (ブナ科) [開花4月上旬/結実10月] 武蔵野の雑木林に多く見られる。秋にはどんぐりが実る。



コナラ

▲ニリンソウ (キンポウゲ科) [開花3月下旬～4月中旬] イラスト参照



本園

F 野草の道

さまざまな野草が見られる小山の小径です。種が飛んでたびたび場所を変える多年草もあり。毎年新たな発見があるエリアです。

